

Ⅱ．主体間の連携に資する取組み

消費者に対する普及啓発活動や、各種調査・研究活動への参画・実施を通じ**消費者・自治体・国**等との連携に資する取組みを展開します。

関係八団体共同の
取組み

容器包装廃棄物の3R推進普及啓発のため、

- フォーラムの開催
- セミナーの開催
- 各団体ホームページのリンク化・共通ページの作成等による、
情報提供の拡充

各団体が取り組む
共通のテーマ

- 情報提供・普及活動(各団体の既存の取組みの活用も含む)
 - ・環境展等の展示会への出展協力及び充実
 - ・3R推進・普及啓発のための自治体・NPO・学校等主催の
イベントへの協賛と協力
 - ・3R推進・普及啓発のための自治体・NPO・学校等主催の
研究会への参加と協力
 - ・3R推進・普及啓発のための共同ポスター等の作成
- 調査・研究
 - ・分別収集・選別保管の高度化・効率化等の研究
 - ・分別収集効率化等のモデル実験への協力

5

定量指標をご報告するにあたって

Reduce

軽量化状況を把握・集計するためには、容器包装製造事業者からの情報提供が必須。

- * 製造事業者が集中し、組織化されている容器包装素材……把握が可能
 - * 製造事業者が分散し、組織化されていない容器包装素材
……把握が困難もしくは、把握するために組織化等時間を要する取組みになる
- ⇒紙製容器包装・プラスチック製容器包装が置かれている状況

Recycle

リサイクル率や回収率といった指標を調査・集計するためには、自治体・事業者から排出される段階～商品化を行う事業者までのリサイクルフローのなかでなるべく商品化に近い段階のリサイクル関連データの把握が可能かによって決まる。

8容器包装素材のリサイクルの歴史も異なり、今現在はさまざまな指標が用いられている。

リサイクル率……ガラスびん、アルミ缶、スチール缶

回収率……PETボトル、飲料用紙容器、紙製容器包装、段ボール

収集率……プラスチック製容器包装

今後調査研究を進める中で、理解しやすい指標への統一に努力していきたい。

6

Reduce
リデュース

- 軽量化・薄肉化による使用量削減
(数値目標を含む)
- 適正包装の推進
- 詰め替え容器の開発

リデュース

- 地球資源の保護の観点から優先的に取り組むべき事項として、循環型社会形成推進基本法にも掲げられています。
- 連絡会では、容器包装の軽量化・薄肉化や適正化等に取り組んでいます。

多くの容器で着実にリデュースが進んでいます

7

報告書P 3

リデュース 軽量化・薄肉化等による使用量削減(数値目標)

素材	2010年度目標 (2004年度比)	2007年度 実績(参考)	2008年度実績
ガラス びん	1本あたりの平均 重量を 1.5% 軽量化	1本あたり平均重量 1.3% 軽量化	1本あたりの平均重量 1.4% 軽量化
PET ボトル	主な容器サイズ・用途 ごとに1本あたりの 重量 3% 軽量化	主な容器サイズ・用途 15種の内 8 種で 0.9~10% 軽量化	主な容器サイズ・用途 15種の内 13 種で 0.1~11% 軽量化
紙製容 器包装	2% 削減	0.5% 削減	1.3% 削減
プラス チック 製容器 包装	3% 削減	①事例として把握した 削減量 4,617トン ②原単位改善効果の 換算値 4,293トン	①事例として把握した 削減量 1,375トン ②原単位改善効果の 換算値 12,856トン